

# The National Conference of Community Cinemas 2016 in Takasaki

## 全国コミュニティシネマ会議 2016 | 参加申込書

下記内容を、**9月20日(火)**までにEmailまたはファクシミリにてご送付下さい。

ご出席申し込みに対しては、追って確認のご連絡を差し上げます。

\* 定員を越えた場合、お申込を受けられない場合がございます。ご了承ください。

**Email** [kaigi2016@jc3.jp](mailto:kaigi2016@jc3.jp) \*件名に「コミュニティシネマ会議申込み」と記載の上、下記内容をメール本文に記入し送信してください。

**Fax** **03-3461-0760** \*下記フォームにご記入の上、ファックス送信してください。

所属 (ふりがな)

所属部署・職名等

氏名 (ふりがな)

住所

〒

電話番号

ファックス番号

Emailアドレス

● 参加するものにチェックしてください

9月30日(金)

13:30-18:45 会議

19:15-21:15 レセプション

10月1日(土)

10:00-12:00 ディスカッション:地域のミニシアター20年

13:15-14:15 トークセッション “劇場と映画と観客を結ぶ”

14:30-15:30 コミュニティシネマの映画 “コミュニティシネマのシネマ”のススメ

### |会場| 高崎電気館 高崎市柳川町31番地

高崎電気館は、大正2(1913)年に高崎市で初めて開館した常設映画館で、2001年に閉館したが、2014年に所有者から高崎市が寄付を受け、同年10月3日、まちなかの活動拠点、新たな文化活動拠点として「高崎市地域活性化センター」(通称:高崎電気館)に生まれ変わった。現在は、ホールでの上映企画をシネマテークたかさきが行っている。

<http://takasaki-denkikan.jp>



### |お問い合わせ|

コミュニティシネマセンター tel.050-3535-1573 film@jc3.jp <http://jc3.jp/>

高崎映画祭事務局 tel.027-326-2206 <http://takasaki.film.gunma.jp/>

主催 | 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 / 一般社団法人コミュニティシネマセンター  
高崎映画祭委員会/NPO法人たかさきコミュニティシネマ

制作 | 一般社団法人コミュニティシネマセンター/シネマテークたかさき/高崎映画祭事務局

後援 | 高崎市/公益財団法人高崎財団

# The National Conference of Community Cinemas 2016 in Takasaki

## 全国コミュニティシネマ会議2016 イン 高崎 2016年9月30日[金]・10月1日[土]

### |会場|

高崎電気館 [群馬県高崎市]

### |参加費|

会議…1,500円

\* コミュニティシネマセンター会員は会議のみ参加は無料(1団体1名まで)

\* 9月30日、10月1日共に参加可。一部のみの参加も同じ

レセプション…3,500円

### |お問い合わせ|

コミュニティシネマセンター tel.050-3535-1573 film@jc3.jp

高崎映画祭事務局 tel.027-326-2206

<http://jc3.jp/wp/conference/>

# 全国コミュニティシネマ会議2016 イン 高崎

1987年に始まった「高崎映画祭」は今年30周年を迎え、NPO法人たかさぎコミュニティシネマが開館した映画館「シネマテークたかさぎ」は12年目を迎えました。また、今年も、全国コミュニティシネマ会議が始まって20年という節目の年でもあります。2003年に「コミュニティシネマ宣言」を発表して13年、デジタル化という映画の革命的な変化や東日本大震災という大きな困難に直面しながら、映画祭や自主上映、シネマテーク(公共映画専門館)や映画館(ミニシアター)など、“コミュニティシネマ”の活動は、全国各地で多様な形で展開されています。今年の会議では、“コミュニティシネマ”が目指してきたことは何だったのか、それはどのように実現したのかを検証し、地域の映画文化を支えるコミュニティシネマ活動のさらなる飛躍を目指して、様々なプログラムを展開します。

## プログラム (予定) \*出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9.

30 金

13:30 - 13:50

主催者挨拶/コミュニティシネマセンター活動報告

14:00 - 15:15

ロンドン・オリンピック「文化プログラム」における映画、英国上映事情と上映振興策～ご近所シネマ (Neighbourhood Cinema) を中心に

2012年に開催されたロンドン・オリンピックでは、オリンピックの開催に合わせて数多くの「文化プログラム」が実施され、文化分野でも多くのオリンピックの“遺産(レガシー)”が遺されたことが注目されています。映画分野においてはどんな「文化プログラム」が行われたのか。イギリスの映画振興の中核を担う英国映画協会からゲストを招き、英国の上映事情・上映振興策と、映画とオリンピックの関係を聞きます。

【講師】ヘザー・スチュワート Heather Stewart

英国映画協会 British Film Institute BFI, Creative Director  
http://www.bfi.org.uk/

15:30 - 17:30

プレゼンテーションとディスカッション  
「温故知新?～コミュニティシネマのこれまでとこれから」

映画上映ネットワーク会議(現コミュニティシネマ会議1996)、文化芸術振興基本法(2001)、コミュニティシネマ宣言(2003)、「子どもと映画」プログラム(2004～)、シネコンの勃興、コミュニティシネマセンターの設立～シネマ・シンジケート、シネマテーク・プロジェクト(2009～)、東日本大震災[シネマエール東北](2011～)、デジタル化(2012～)、Fシネマ・プロジェクト(2014～)、熊本地震(2016)……。いろいろなことがありました。

このプログラムでは、全国で様々なかたちでコミュニティシネマの活動を行う人々たちによるプレゼンテーションとディスカッションを通して、コミュニティシネマが目指してきたもの、目指していくことを考えます。

【プレゼンテーション】

高崎における“コミュニティシネマ”～高崎映画祭からシネマテークたかさぎ、高崎電気館へ

30年前、故茂木正男氏によって立ち上げられた高崎映画祭は、新しい世代に受け継がれ、映画館「シネマテークたかさぎ」、フィルムコミッション、高崎電気館を運営する、理想的な“コミュニティシネマ”に成長しました。

【ディスカッション】

【パネリスト】

志尾睦子(シネマテークたかさぎ/高崎映画祭代表) / 行定勲(映画監督/菊池映画祭ディレクター)

松本正道(アテネ・フランセ文化センター/コミュニティシネマセンター理事) / 宮崎善文(松本シネマセレクト代表)

小野寺生哉(カナザワ映画祭代表) / 榎栢一則(みやこシネマリン/ほっこりみやこ映画祭/金石つっぱん映画祭)

【司会】土田環(映画研究者/早稲田大学理工学術院講師)

17:40 - 18:45

コミュニティシネマ“プレゼンテーション・マラソン!”

北から南まで、日本全国の、コミュニティシネマ10団体のプレゼンテーション。コミュニティシネマの“現在”を実感していただくことができます。

【登壇団体】

熊本地震から5か月、がんばれ「熊本Denkikan」! / 『眠る男』から生まれた「伊参スタジオ映画祭」(群馬県中之条町) / 若者が台頭する「札幌映画サークル」/千葉のインディ映画祭「ちば映画祭」/開館したてのバリアフリー映画館「シネマ・チュブキ」/藤沢市にできる新しい映画館「シネコヤ」/金沢21世紀美術館の「まるびいシネマパラダイス」/映画館が連携!「シネマストリートフェス」(神戸)/小さな町の新しい映画祭「kisssh-kissssssh映画祭」(和歌山県加太町) /39席の映画館「鹿兒島ガーデンズ・シネマ」

19:15 -

レセプション 会場 | 高崎市役所21階「アートマルシェ」

10.

01 土

10:00 - 12:00

ディスカッション「地域のミニシアターの20年」

大都市・中都市のミニシアターが、この20年の間にどのように変化したのかを話し合います。どんな映画館を目指してきたのか、現状はどうなのか、ミニシアターをやっていて楽しいこと、大変なこと等々…最前線で活躍するスタッフが参加者とともにディスカッションします。

監督インタビュー映像「私たちはなぜミニシアターで自分の映画を上映したいのか」上映

【映像出演】瀬々敬久、青山真治、塚本晋也、森達也(各約5分予定)

【ディスカッション】

【パネリスト】

梶原俊幸(横浜シネマ・ジャック&ベティ) / 飯島千鶴(川越スカラ座) / 榎本雅之(浜松シネマe-ra)

吉田由利香(京都市みなみ会館) / 下地久美子(那覇 桜坂劇場)

【司会】北條誠人(ユウロスペース/コミュニティシネマセンター理事)

12:00 - 13:15

休憩

13:15 - 14:15

「映画の本『ジャックと豆の木』」創刊関連トーク“劇場と映画と観客を結ぶ”

今年12月、映画の本「ジャックと豆の木」(季刊)が創刊されます。(発行「ジャックと豆の木」社ジャック&ベティ内)この本の企画編集者であるグラフィックデザイナー小笠原正勝氏に、この本のコンセプト「『映画を劇場で観る』ことを前提に、見せる側、観る側、映画を作る側、の三者が紙面上でクロスしながら、有機的に一体化できるようなく場>を作る」ことについて聞きます。

【トーク】小笠原正勝

1970年代より、近代映画協会、ATG、フランス映画社BOWシリーズ等のポスターのデザインをてがける。ミニシアターの草創期から最盛期を彩る数々の作品(アンゲロプロス、ゴダール、タルコフスキー、鈴木清順等々)のイメージは、小笠原氏のデザインとともにあるといっても過言ではない。

【きぎ手】田井肇(シネマ5[大分]代表/コミュニティシネマセンター代表理事)

14:30 - 15:30

コミュニティシネマの映画「コミュニティシネマのシネマ」のススメ

コミュニティシネマがつくったり、上映したり、コミュニティシネマを撮ったりした映画。上映しませんか?

○ドキュメンタリー映画「煙突と映画館 -みやこシネマリン閉館の記録」(仮)(監督:立木祥一郎/抜粋版15分)

○高崎映画祭30周年記念事業『こども映画教室@高崎2016』作品(特別講師:松永大司監督)

『いけそうな石』『こいとじゃがいも』『2016年ヘゴ』『みらいからのつかい』

○短編集「ライフ・ワークス」(利重剛監督) 横浜シネマ・ジャック&ベティ+横浜シネマリン などなど。

16:00頃

会議終了予定

関連企画1:コミュニティシネマ フックフェア

各地のコミュニティシネマがつくった本のフックフェアを開催!

関連企画2:映画上映も行う予定です!

16:30-18:00 上映作品等詳細については近日中に公表します。